

いしべっ子

年頭のご挨拶

校長 柘植 幸隆

新年あけましておめでとうございます

昨年、石部小学校児童のために保護者・地域の皆様に多大なるご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございました。本年もどうぞ引き続き、ご理解・ご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

さて、今年の元旦は、比較的穏やかな天候で迎えることができました。初詣に出かけると、背中にリュックサックを背負った大勢の人に出会いました。三上山から初日の出を見ようと登山をしてきた人たちです。元旦から目的を持って行動をされている人たちがこんなにたくさんおられるんだと思いました。みなさんはどんなお正月を迎えられたでしょう。

石部小学校では、今年も子ども一人ひとりがめあてを持って学習に取り組み、話し合いをしながら友だちと問題を解決し、自分の意見や考えをしっかりと話すことができるように取り組んでいきます。これからの社会は、人と協力しながら取り組むことがなければ、自分一人では解決することができない社会です。人と対話することが楽しくなるような子どもたちを育てていきたいと思います。



日本の伝統、「夢」、「あいさつ」



全校集会では、できるだけ今は忘れられそうな昔の風習や古い言葉などについて話をしています。年末年始は、古くからの良き風習がたくさんあります。昨年は、「除夜の鐘」や「しめ縄」、「鏡餅」などについて話をしました。今年は、「冬至」についての話。「ゆず湯」に入ることや「カボチャ（南瓜）」を食べることなどを話しました。

始業式では、「お年玉の由来」や「七草がゆ」について話をしました。1月7日になぜ「七草がゆ」を食べるのか。七草の種類やどんな良いことがあるのか等の話をしました。実際に食べた子は、約5分の1ぐらいでしたが、名前や効能などを知っている子もいました。昔の風習は、きちんと理由があって合理的なものもたくさんあります。迷信などといわずに古き良き日本の風習を伝えてあげてください。

二つ目は、「夢を持ってください」ということです。昨年陸上100m走で、日本人初の9秒台を出して日本中を興奮させた桐生祥秀選手や将棋の藤井聡太四段は、小学生の頃からオリンピックに出る夢や名人になる夢を持っていました。夢を持って諦めずに頑張る人になって欲しいし、夢は途中で変わっても、ずっと持ち続けて欲しいと思います。残念ですが、石部小で夢を持っている子どもたちは約半分ぐらいしかいないようです。

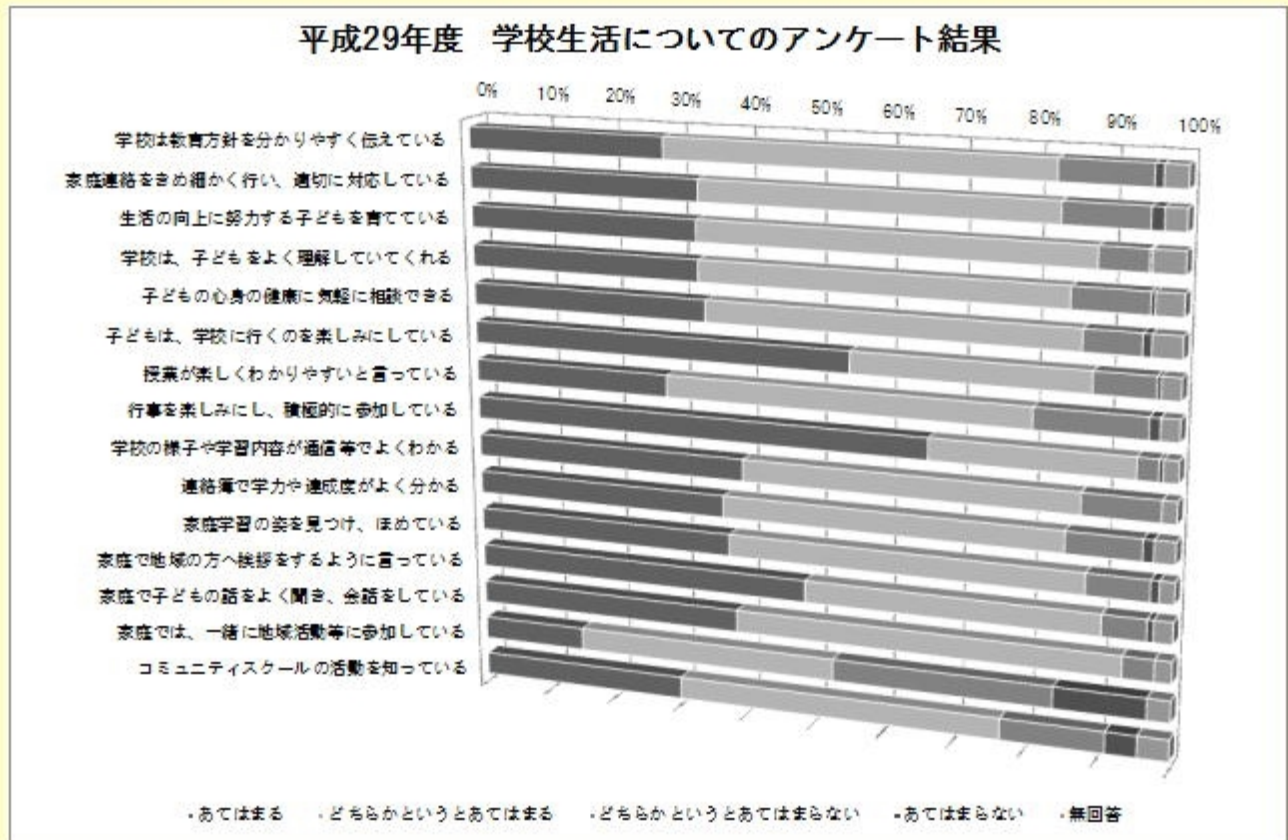
ところで、今年1月5日に発表された第一生命の調査（2017年6月～7月、全国の園児・小学生1100人から回答）によりますと、大人になってなりたい職業の結果は次のようでした。男子1位：学者・博士、2位：野球選手、3位サッカー選手、女子1位：食べ物屋さん、2位：看護師さん、3位保育園・幼稚園の先生でした。男子は15年ぶりに学者・博士がトップになり、女子は21年連続食べ物屋（ケーキ屋さん等）さんだそうです。「がんを完治したい」や「病気の

人が元気になるケーキを作りたい」等、最近の高齢化や健康志向が子どもたちの職業選択にも出ている気がします。

3つ目は、やっぱり「あいさつ」です。多くの子は、毎朝元気にあいさつができますが、まだまだ、できない子もいます。調子の悪い日は、できない日があってもいいので、普段はしっかり挨拶をして欲しいと思います。まずは大人からしっかりやっていきたいものです。



平成29年度の学校評価（保護者評価）の結果について 回収率89.8%



保護者の皆様のご協力を得て実施いたしました学校評価の結果が出ましたので、お知らせいたします。「どちらかといえばあてはまる」までで80%以上あれば肯定的評価をさせていただいているものと考えています。昨年度、80%に満たなかった項目は、「子どもと一緒に地域活動に参加している」「コミュニティー・スクール（以下CS）の取り組みを知っている」でした。「CSの取り組みを知っている」については、計算に間違いがあり、63.7%という低い値でしたが、正しくは、80.5%でした。これにより80%以下は、「子どもと一緒に地域活動に参加している」だけでした。今年度「CSの取り組みを知っている」についての肯定的評価は76.7%であり、昨年度より若干減ってしまったのが残念です。土曜日や夏休みの学習教室、通学路の見守り活動、防犯教室、米づくり、餅つき、歴史教室、うどん作り等の体験活動をCSの方々や地域の皆さんと共に行っています。今後も広報等を通じて紹介させていただきます。ご多用の中ボランティアとして学校を支えていただきありがとうございます。



「子どもと一緒に地域活動に参加している」項目は、残念ながら約50%で他の項目に比べると大変低い数値になっています。保護者の皆様が、子どもたちと共に地域の行事に参加していただき、活気ある石部の町を築いていただきたいと思います。全体を見ますと昨年とほぼ同じような評価をいただいておりますが、詳細についてしっかり振り返り、今後は、90%以上を目指して職員一同頑張っていきたいと思っております。学校・保護者・地域の三者がCSを生かして、子どもたちをしっかりと育てていきたいと思っております。

